

会 議 要 旨

会議名	令和5年度 第5回館山市公民館運営審議会・答申検討委員会
開催日	令和6年2月22日(木)
開催場所	館山市コミュニティセンター 第一集会室
出席者	[委 員] 館山市公民館運営審議会・答申検討委員会委員(10名) [教育委員会] 中央公民館長・中央公民館職員(5名)
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者	2名(定員10名)
会議概要・結果等	<p>1. 開会</p> <p>2. ガイダンス 中央公民館長「本日の会議の内容・進め方」 健康体操「バックエクステンション」実演</p> <p>3. 議題</p> <p>1) 答申検討委員会審議経過</p> <p>【説明】</p> <p><input type="checkbox"/>第1回～第4回答申検討委員会・審議経過について</p> <p><input type="checkbox"/>答申(素案)に対する修正意見の締切を3月13日までとする。</p> <p>【質疑・提言】</p> <p><input type="checkbox"/>了承</p> <p>2) 公民館再編計画策定委員会(令和6年度～令和7年度)</p> <p>【説明】</p> <p><input type="checkbox"/>次年度「公民館再編計画策定委員会」構成メンバーについて</p> <p>【質疑・提言】</p> <p><input type="checkbox"/>了承</p> <p>3) 答申(答申・経営方針・事業方針)概要</p> <p>事業方針「幸民感8つのチカラ」説明</p> <p>【説明】 Goal4「生涯学習」事業方針について</p> <p><input type="checkbox"/>公民館利用者アンケート結果「学習を進めるために必要な学習情報」などから考察する学習情報提供のあり方について</p> <p><input type="checkbox"/>学習相談窓口のあり方について</p> <p><input type="checkbox"/>学習定着率を意識した講座デザインについて</p> <p><input type="checkbox"/>公民館利用者アンケート結果「サークル活動の社会的貢献」などから考察する幸齢社会における高齢者の学び(成果発表の場・人に伝える機会)として、「さ～くる宅急便」について</p>

【質疑・提言】

- 出向くことで、自分たちのスキルも上がる。先だっのサークルフェスティバルでも体験、ワークショップを行った。子どもたちに教えることで、自分たちにも発見がある。こうした機会があれば、協力していきたい。
- 見せることで、楽しみを伝えられる。テーブルに見本を置いておくだけで、子どもたちがやってみたいと言ってくる。「やりたい」は自発的なので、その場が盛り上がる。
- 孤立・孤独を感じている人がいる。それを公民館がつなげるというのはすばらしいことだと感じた。人をつなげる人、そういう人たちを増やしていくことが大切だと思った。人材の育成も重要だと思う。

【説明】 Goal 3 「フレイル予防への取り組み」について

- フレイル予防への取り組みについて「フレイルの3つのタイプ」「人とのつながりが最もフレイル予防・対策に特に効果が高い」等、説明
- 公民館講座・サークル活動自体が「人と人を結ぶ・つなげる」ことで、フレイル予防に貢献している。
- 健康の3本柱「食べる・運動する・社会参加」に見る「五感で楽しむ講座デザイン」について

【説明】 Goal 3 「ロコモ予防への取り組み」について

- ロコモ予防の重要性「コロナ禍による行動変容がもたらした筋力の衰え」について
- 公民館利用者アンケート結果から考察する「高齢者の学習ニーズ」の多様性について
- 講座（仲間づくり）を通じたウォーキングや自然・歴史散策は、ロコモ予防につながり、「心の健康」にも役立つことが期待される。

【説明】 Goal 3 「社会的処方への取り組み」について

- 望まない孤立・孤独への取り組み「社会的処方」について
- 兵庫県養父市「リンクワーカー養成講座」等の事例を紹介
- 実証実験「公民館パスポート」について

【質疑・提言】

- 過日、保健推進員と区長との会合があったが、これからは特に人と人、人と地域とのつながりが大事だという話が出ていた。改めて、実感している。

【説明】 Goal11 「命の大切さを学ぶ防災学習」について

- フェーズフリーによる公民館講座デザインについて
- 社交ダンスの「歩行練習」を「防災ウォーキング講座」に活用した講座事例（兵庫県芦屋市）を紹介

【説明】 Goal11 「涼みどころクーリングシェルター」について

- 熱中症による救急搬送状況と遊休空間の活用について
- 宮崎県通山地区自治公民館による公民館遊休空間の活用事例を紹介
- 横浜市の学校と博物館の連携「学校博物館」を紹介
- 遊休施設（空間）を活用したくつろぎ空間「まほろば交流空間」を説明

【説明】 Goal11「自分らしく生きるサードプレイス」について

事例「暮らしの保健室」について紹介

【質疑・提言】

これからやるべきことが分かりやすく、整理されている。人と人、人と地域をどのようにつなげていくのか。地域の課題に果敢に挑戦していこうとする意気込み、ビジョンが伺える内容に仕上がっている。

近くの山に展望台を作った。散歩する人や子どもたちが集まれる遊び場を作った。移住してきた人や市外の人も集まった。遊び心がとても大切だと思う。

コミで広がっていった。普段からつながっていれば、いざという時、仲間の中で得意なことを持ち寄れる。

男性の立場で言うと、サードプレイスという意味では、何かしら気軽に寄れる居場所がほしい。何かしら参加したいという気持ちがある。ロコモの体操も参考になった。運動不足はいなめない。普段からの行いが大切だということ。それが公民館を中心に地域のつながり、人と人のつながり、個人の居場所、健康づくりに役立つといったことは、大変ありがたい試みだと感じた。

4) 地区公民館事業計画（素案）

【説明】

地区公民館「幸民感講座 23 講座」について

本答申で示された事業方針（案）を受けて、各地区公民館で 23 講座がアイデアとしてあがっている。各委員が所属する地区公民館以外の講座を市内横断的、俯瞰してご確認いただき、地区公民館運営審議会の参考にされたい。

【質疑・提言】

了承

5) 今後の答申・地区公民館運営審議会の予定

【説明】

地区公民館運営審議会の日程・答申日程等について

【質疑・提言】

了承

4. その他

【説明】

答申文と経営方針については、副委員長と協議の上、完成次第、各委員へ配布する。3月13日を目途（〆切）に集約する。

【質疑・提言】

了承

5. 閉会